

年々歳々2004 京都青年団体会議

2月28日 於 みやこメッセ

㈱セイワ工業 東 憲彦

2月28日に、年々歳々2004 京都青年団体会議がみやこメッセで開催されました。昨年の4月の総会から生田泰宏氏を委員長として京都活性化委員会を開設しました。この委員会を中心に、各青年団体からの出向者に加え、2004 京都青年団体会議実行委員会を組織し、生田氏が実行委員長に就任しました。この実行委員会を中心に10ヵ月間試行錯誤の末、開催にこぎつけることが出来ました。

生田実行委員長をはじめ実行委員会の皆さん 本当に長い間ご苦勞様でしたこの10ヵ月間の経験は一生の思い出となるでしょうね。中村智彦当会顧問におかれましては、企画からご助言をいただき、また当日はコーディネーターの大役を見事にこなしていただきました。感謝しております。そして幹事・フレッシュ部会のみなさんも前日の準備から当日のあとかたづけまで本当にご苦勞様でした。

最近思うのですが、人はえてして年齢を積み重ねていくうちに「人間として厚み」は出てくると思いますが、どうしても「過去の成功体験」に固執したり、「自分のカラー」を重視して強情になりがちです。特に代表幹事を2年間させていただいた自分にとって薄っすらと感じていた心の中の葛藤でした。

今回の会議で私は、青年経営者として大事なことは「謙虚に理解し合う」そして「成長する」ことだと痛感し、「歳はとつても心は青年」とある先輩の言葉を思い出しました。特に二部のお座敷大宴会では、同年齢で鍋を囲み他団体の皆さんと本音で語り合えたのではなかったでしょうか？

